

令和4年度 第2回神戸市就学・教育支援委員会 次第

令和4年9月29日（木）15:00～
神戸市総合教育センター601号室

1. 開会

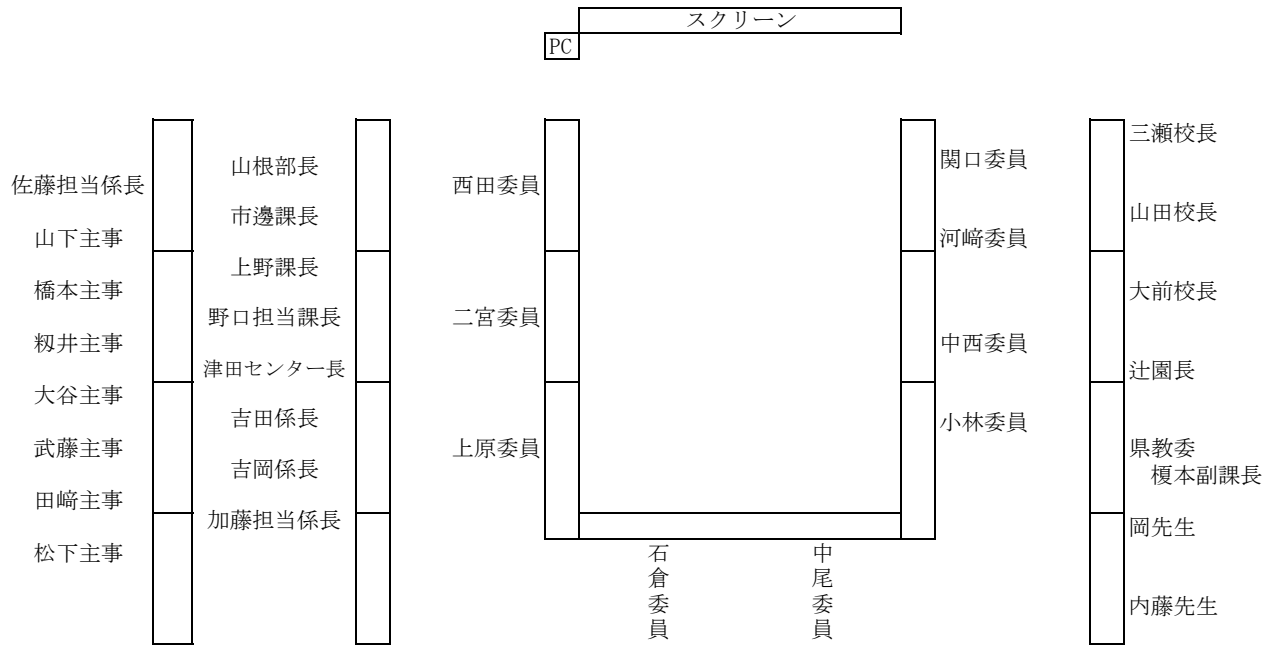
2. 内容

- (1) 聴覚障害教育についての検討 (資料1)
- (2) 特別支援教育相談センター 状況報告
- (3) 校内支援委員会「判断報告書」の検討
- (4) その他

3. 事務連絡

令和4年度 第2回神戸市就学・教育支援委員会 座席表

KEC601号室



傍聴席

受付

令和4年度 神戸市就学・教育支援委員会 委員等一覧

	名前	所属等	専門等
委員	石倉 健二	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科教授	発達心理
	中尾 繁樹	関西国際大学 教育学部学部長	教育心理
	小林 大介	兵庫県立こども病院 整形外科部長	整形外科
	上原 奈津美	神戸大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科助教	耳鼻咽喉科
	高田 哲	こども家庭局 総合療育センター 診療担当部長	小児科
	中西 裕子	神戸大学医学部付属病院 眼科准教授	眼科
	河崎 洋子	にこにこハウス医療福祉センター施設長	小児神経科
	関口 典子	兵庫県立こども病院 精神神経科部長	児童精神科
	西田 和子	元神戸総合医療専門学校 学科長	言語聴覚士
	二宮 啓子	神戸市看護大学 学生部長	小児看護学
オブザーバー	大前 稔	魚崎中学校長(中学校教育実践研修特別支援教育グループ)	
	山田 義明	高羽小学校長(小学校教育実践研修特別支援教育グループ)	
	三瀬 博道	いぶき明生支援学校長(特別支援学校校長会)	
	辻 郁子	有野幼稚園長(幼稚園教育実践研修特別支援教育グループ)	
	榎本 好子	兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課 副課長	
	内藤 泰	医療センター中央市民病院 総合聴覚センター長	耳鼻咽喉科
	岡 恵子	兵庫県立聴覚障害者情報センター	言語聴覚士
事務局	山根 拓生	教育委員会事務局 学校教育部長	
	市邊 裕喜	教育委員会事務局 学校経営支援課長	
	上野 昌稔	教育委員会事務局 特別支援教育課長	
	野口 千晶	教育委員会事務局 特別支援教育課 担当課長	
	津田 朋厚	教育委員会事務局 特別支援教育課 担当課長 特別支援教育相談センター長	
	吉田 泰宏	教育委員会事務局 特別支援教育課 推進係長	
	小玉 誠	教育委員会事務局 特別支援教育課 担当係長	
	吉岡 邦夫	教育委員会事務局 特別支援教育課 管理係長	
	佐藤 亘	教育委員会事務局 特別支援教育課 担当係長	中央区担当
	加藤 剛志	教育委員会事務局 特別支援教育課 担当係長	特別支援教育相談センター
	大谷 芳樹	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	知的障害、東灘区・灘区担当
	山下 政子	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	LD・ADHD、兵庫区担当
	橋本 繁仁	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	視覚障害、北区担当
	榎井 雄太	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	自閉症・情緒障害、須磨区担当
	田崎 裕介	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	肢体不自由、長田区担当、学校園医療的ケア
	武藤 愛	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	言語・聴覚障害、垂水区担当
松下 岳人	教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	病弱・身体虚弱、西区担当	

難聴幼児児童生徒の状況調査(R2との比較)

特別支援教育課

1. 調査 1 幼児児童生徒の状況について

(1)対象

	幼稚園	小学校			中学校		
		通常の学級	特別支援学級	難聴学級	通常の学級	特別支援学級	難聴学級
R2	5	78	11	5	54	3	8
R3.4.1見込み	計5	計94			計65		
R4	2	80	14	7	53	2	6
R4.8.1現在	計2	計101			計61		

(2)人工内耳と補聴器の装用について

	幼児			小学生			中学生		
	人工内耳	補聴器	装用なし	人工内耳	補聴器	装用なし	人工内耳	補聴器	装用なし
	併用()			併用()			併用()		
R2	1	4	1	11	66	23	11	32	31
	併用(1)			併用(6)			併用(9)		
R4	0	1	1	12	65	28	11	30	26
	併用なし			併用(4)			併用(6)		

(3)通級の利用

	幼児		小学生			中学生		
	きとこ	なし	きとこ	神戸聴覚	なし	きとこ	神戸聴覚	なし
R2	0	5	52	2	40	2	9	54
R4	2	0	48	1	31	0	14	39

(4)FMマイク・支援員の活用状況

	幼児					小学生					中学生				
	FMマイク		支援員			FMマイク		支援員			FMマイク		支援員		
	あり	なし	あり	必要なし	必要だがいない	あり	なし	あり	必要なし	必要だがいない	あり	なし	あり	必要なし	必要だがいない
R2	1	4		2	3	40	54	8	80	6	14	51	53	11	1
R4	1	1		1	1	44	57	20	74	7	17	44	6	51	5

(5)利用しているFMマイクの種類と所有状況

	幼稚園				小学校				中学校			
	ロジャー		それ以外		ロジャー		それ以外		ロジャー		それ以外	
	園	園児	園	園児	学校	児童	学校	児童	学校	生徒	学校	生徒
R2		1			26	13	1		9	3		2
R4	1				29	15		1	8	5		4

2. 調査2 環境整備について

(1) FMマイクを学校備品として確保している

	R2	R4
幼稚園		1園
小学校	23校	26校
中学校	5校	6校

(2) FMマイクを整備したが児童生徒が卒業し、使用していないものがある

	R2	R4
	1校(2台)	5校(9台)

(3) FMマイクを整備したが対象児童が進学する際に、中学校に引き継いだ

	R2	R4
小学校		3校(3台)

(4) テニスボールを机椅子の足につけている教室がある

	R2	R4
ある	66	166

(5) テニスボール以外の消音効果のあるキャップを机椅子の足につけている教室がある

	R2	R4
ある	11	11

(6) 定期考査等でのききとりテストを別室で実施している児童生徒がいる

	R2	R4
いる	14	15

(7) 専門家や関係機関（ひばりクラスや通級指導教室等）の巡回指導を受けている

	R2	R4
幼稚園		3
小学校	25	25
中学校	12	12

(8) 校内で難聴に関する職員対象の研修をしている

	R2	R4
している	26	24

(9) 校内で難聴に関する児童生徒対象の学習をしている

	R2	R4
している	13	10